平成28年上里町教育委員会第1回定例会会議録

上里町教育委員会

平成28年第1回上里町教育委員会定例会 議事日程

日 時 平成28年1月25日(月)午後1時30分
場 所 上里町役場 3階 教育委員会室

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 議 事

- (1) 議案第1号 平成27年度要保護及び準要保護児童・生徒の認定について
- (2) その他

4 教育長報告

5 その他の事項

次回の教育委員会日程について

日 時 平成 年 月 日 () 時 分
場 所

6 閉 会

【 休 憩 】

- 教育委員会報告・連絡会議

平成 28 年第 1 回上里町教育委員会会議録

招集月日	平成 28 年 1 月 25 日 (月)		招集場所	上里町役場教育委員会室	
会議日程	開 会	午後 1 時 30 分	閉 会	午後 2 時 25 分	
招集者及び宣告者	委員長 安藤寛和		議 長	委員長 安藤寛和	
委員出席状況	教 育 委 員		説 明 出 席 の た め に 職 員	学校教育課長	○ 谷木 章二
	委員長	○ 安藤寛和		学校教育指導室長	○ 福島 彰
	委員長職務代理者	○ 川浦計男		学校教育課長補	○ 間々田由美
	委員	× 保坂真哉		学校教育指導主	× 赤石 貴志
	委員	○ 清 昌道		学校教育指導主	× 新津 善彦
	教育長	○ 下山 彰夫		生涯学習課長	○ 金井 孝
	※出席者○印・欠席者×印			郷土資料館長	○ (金井 孝)
				郷土資料館参事	○ 丸山 修
会議進行状況	1. 開会	委員長	それでは、皆さんこんにちは、先週の金曜日に行われました児玉地区教育委員会連合会臨時総会並びに教育委員研修会につきましては、大変お世話になりました。		
			又、本日お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。		
			本日保坂委員が欠席しております。ただ今の出席委員は4名であります。		
			地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項に規定する定数に達しておりますので教育委員会会議として成立しております。		
			ただ今より、平成28年1月第1回上里町教育委員会定例会を開会いたします。		
	2. 前回会議録の承認				
		委員長	次第の2として、過日前回の会議録を配布しておりますが、お気づきの点等ありましたらよろしくお願いいたします。		
			よろしいでしょうか。それでは、会議録の承認について、お諮りいたします。ご承認いただけますでしょうか。		
			<異議なし>		
	3. 議事	委員長	前回の会議録は承認されました。関係者は後程、署名をお願いします。		
			<委員長・教育長・会議録調整者署名>		

会 議	委員長	議事に入る前に報告いたします。以前より要保護及び準要保護児童生徒の認定については、主管課である学校教育課及び学校に密接に関わりのある学校教育指導室以外の管理職については、退席していただいております、特に慎重な審議をしております。
		しかしながら、教育委員会主管課のみならず、教育委員会の組織として、直接の関係が少ないと思われる課等についても、教育行政を進める上で、一体的な事業として取り組む考えが必要であると思っております。又、教育委員、職員とも個人情報に配慮するという義務がありますことから、議事に同席することは、何ら問題が無いと思われれます。これについては、長期間検討を重ねてまいりました。このため本定例教育委員会より、退席せず議事に同席していただくというところをご了解いただきたいと思います。
	教育委員	それでは、議事に入りたいと思います。議案第42号平成27年度要保護及び準要保護児童生徒の認定についての件を議題とします。
進 行	委員長	事務局より提案並びに提案理由の説明を求めます。
	学校教育課長補佐	議案第1号平成27年度要保護及び準要保護児童・生徒の認定についてご提案申し上げます。
		上里町要保護及び準要保護児童生徒就学援助実施要綱第5条第1項に基づき、別紙のとおり認定するので議決を求めます。
状 況		提案理由といたしましては、要保護及び準要保護児童生徒を認定し、学校運営の円滑化を図るため本案を提出するものでございます。
		内容について説明申し上げます。
		<資料に基づき詳細を説明>
	委員長	ありがとうございました。ただ今事務局より説明を受けました新規申請3件4名の申請がありました。よろしくご審議のほどお願いいたします。
		<質疑なし>

会 議 進 行 状 況	委員長	それでは、他に質問はありませんか。
		<質疑終了>
	委員長	それでは、議案第1号平成27年度要保護及び準要保護児童生徒の認定でございますが、新規申請3件4名の方の認定について決定してよろしいでしょうか。
	教育委員	<異議なし>
	委員長	本案は議決いたします。今後の手続きについては、よろしくお願いいたします。
	委員長	続きまして、3議事の(2)その他についてでございますが、何かありますでしょうか。
	学校教育指導室長	学校休業日についてであります。一定の方向性を出していきたいと思っておりますので、ご説明させていただきます。
		学校休業日の見直しについて(案)が別紙として添付してございます。ご覧をいただきたいと思っております。これは、本庄市の資料でございますが、本庄市が来年度4月から実施するということで作成したものです。
		上里町も給食センターの関係で本庄市と関係がございますので、上里町も見直さなくてはいけないかと思っております。
		過日の校長会で意見を聴いたところです。
		本庄市では、以下の理由により授業日の増が必要と考えています。1として、学力向上～よりきめ細かい指導を行うための時間の確保(補充、発展)、学力向上を一つの視点として考えます。2として、学期末事務時間の確保、教員の負担の軽減です。3として、エアコンを導入したということ。
		4として、臨時休業への対応(台風、大雪等)、大雪や夏場の台風などにより臨時休校になり、授業時数が削減されてしまうことが多くなった。そこで夏季休業日を7月21日から8月26日までとして、中学校で実施していたものを、来年度は、小学校まで拡大して、夏季休業日は、7月21日から8月26日までとする。

会	<p>冬季休業日は、12月25日から翌年1月6日までということで、今年の本庄市の中学校では、1月7日から始まっていますが、来年度は1月7日から小学校・中学校とも3学期の始業式を実施するという事ですね。</p> <p>開校記念日も、休みにしないで、授業を行います。それにとともに本庄市は管理規則の第3条第4号開校記念日を削除し、休業日から除くものです。</p>
	<p>また、第6号の夏季休業日を7月21日から8月31日まで。ただし、中学校にあつては、8月26日までとする。を小中学校ともに、7月21日から8月26日までとする。冬季休業日も12月25日から翌年1月7日まで。</p> <p>ただし、中学校にあつては翌年1月6日までとする。を小中学校ともに12月25日から1月6日までとする。というように管理規則を変えていくということです。</p>
議	<p>参考にありますように、近隣市町の状況ですが、本庄市がまとめたもので上里町、美里町は、夏季休業日は8月26日までとなっておりますが、これは、本庄市の取違いだと思います。</p> <p>上里町は夏季休業日を3日間短縮するという事です。日にちとしては明言していないのです。</p>
	<p>美里町は8月26日となっております。神川町は、土曜日授業年間10日間とする。秩父市は、夏季休業8月24日まで、深谷市は、開校記念日を授業日とし、土曜授業等で10日間確保となっております。</p>
進	<p>私も深谷市におりましたので良く分りますが、年間3日間土曜授業をしておりました。振替なしの土曜授業です。</p> <p>普通は土曜日授業をしますと、振替で休みもありましたけれど、土曜日授業で振替なしということで、3日間授業を行っておりました。学期1回づつ土曜授業を行っておりました。</p>
	<p>授業参観などの午前中で終わるようなことですね。</p> <p>今年度、県内40市の開校記念日の取扱いですが、開校記念日に授業を行っているのが19市、休業日としているのが21市ということでありまして、実情は半分位かなと思います。</p>
行	<p>県民の日に授業を行っているのは1市で、後はほとんど休業日となっております。</p> <p>近隣で見えますと、開校記念日に授業を行っているのは、美里町と長瀬町、それに深谷市も入ります。</p>
状	
況	

会 議 進 行 状 況		これに来年度は本庄市も加わります。県民の日も、どこの市であつたか、調べてはいないのですが、県の条例の関係で、なかなか難しい面もあるという話を聞いたことがあります。勝手に市町村で授業日に振り替えていいものなのかという問題ですね。
		この間の校長会においても上里町では、給食の関係もありますので、こういう方法で考えていくと方向性は示したところでは、来年度の4月から施行を考えていたのですが、カレンダーを見ますと、本庄市がこのとおり実施しても上里町と何ら変わらないです。どういうことかと言うと、たとえば来年1月7日から3学期が始まるとすると、1月9日が成人の日で、7日が土曜日なので、結局10日から3学期が始まるのです。
		夏休みも8月26日から始まるにしても、何ら上里町とは変わらないのですね。
		来年度に限ってはですね。来年度は確かに1月10日が始業式なので、1月7日と明言しても、7日が土曜日なので、結局10日が始業式になるものですね。
		何も変わらないねという話でした。このため、校長会との話もありますので、来年度1年間検討して、29年度から施行したらどうかということです。
		学校も、来年度のことはだいたい11月、12月頃には色々な行事計画などが決まってくるので、今の時点で変えていくのは時期的に難しいですね。結論から申し上げますと、来年1年間の検討事項として次の年から始めていきたいという訳でございます。
		そのような方向で進みたいと考えております。
		ただ本庄市は4月から管理規則を変えて始めていくということでございます。授業時間の確保ということで、各市町村が苦勞をしているところですが、上里町も考えていかななくてはならないと思っております。
		以上簡単ではございますが、説明とさせていただきます。
		委員長
		ご説明ありがとうございました。夏季休業日の期日を変えるということで、3日間という日数を、期日を変えるということ、冬季休業日を1月7日の始業式にする。
		開校記念日は授業日とする。という大きく分けると3つの授業日の改正をしたいということの説明でございました。

会	清委員	管理規則というのは、その都度変えていく必要性はあるのかどうかということなのですが、一定期間継続的なものがないと落ち着かないのではないかと思います。ですからその時によって、また変更が出て、授業を行ったほうがいいのか、そしたら土曜日の授業を設けるとかね。それから開校記念日はどうするとか、ある程度長期的に検討して、お決めになっていく方がベターなのかなと、思いますけれど。
	学校教育指導室長	管理規則の第3条に休業日とありますので、この機会に削除するとか、変更していくことになるのかと思います。
議	教育長	今の件についてなのですが、上里町が夏休みを3日間短縮しますと言ったのは、いわゆる暫定的にということ。ですから日にちを決めなかったのですね。なぜ日にちを決めなかったかということですが、本庄市と同じ学校給食組合での給食なので、本庄市が学校にエアコン設置をしてくると、2年後には上里町と足並みがそろ
	教育長	う。同じ体制になるので、その時には両方で合わせましょうかということで、ある程度の申し合わせ的なことがあったのですが、早く連絡いただけるかなと思っていたら、決まってしまった。中身を見てみたら、変わっても、上里町の体制として、まったく影響がないものです。
進	教育長	影響があるのが、開校記念日だけだということで、今あえて急いで合わせる必要がない、本庄にあわせると追随した形になるので、それでは1年間猶予をもって、はっきりとした管理規則の設定をしようということ。今の段階でいうと、毎年始まる日が違うのですね。今の状況でいうと、あくまでも暫定的に行った手法であるので、安定すれば、きちっと決めていったほうが、色々な意味で良いかなと思います。本庄市との連携が
	教育長	ちょっと上手くいっていなかったかと思います。
行	清委員	学校の都合で、休業日であったり、無かったりでは、保護者の不信感が出てくると思いますので、決めたら、そのとおり進むということが良いのではと思いますね。
	教育長	来年は、このままで実施し、1年間考えます。その結果で
状	清委員	学校の都合で、休業日であったり、無かったりでは、保護者の不信感が出てくると思いますので、決めたら、そのとおり進むということが良いのではと思いますね。
	教育長	来年は、このままで実施し、1年間考えます。その結果で
況	清委員	学校の都合で、休業日であったり、無かったりでは、保護者の不信感が出てくると思いますので、決めたら、そのとおり進むということが良いのではと思いますね。
	教育長	来年は、このままで実施し、1年間考えます。その結果で

会 議 進 行 状 況		決めて行こうと思います。
		来年の規則改正は、今の時期では無く、色々な計画を学校が立案する前に行っていこうと思います。そのようなことを校長会では話をしたところです。
	委員長	もう既に学校では、来年度の事業計画案が固まっていますよね。
	教育長	そうですね。
	委員長	事業計画が確定しても、このまま、たとえば、1月7日が土曜日になっているので、影響無いのですね。
	教育長	8月だけは影響があります。8月26日までにするのと、上里よりも本庄が1日多くなります。
		上里町は、始業式を含めて4日間、9月1日までの間にです。
		9月1日以前に授業日を3日間確保しますよ。そうすることによって、始業式1日と8月の2日間と9月1日に授業が出来る日が確保できます。来年度は28日スタートなのですね。
		ところが、26日まで休業日ですと、27日本庄市はスタートする話になります。1日だけ影響が出るのですけれど、それは、やむを得ないだろうと思います。
		来年の8月の月曜日は28日なので、26日まで休業日ですと28日が始業式になるので、そうすると授業日数を4日間確保できるということになります。影響があるのはそこだけなのですね。
	清委員	来年の8月26日は何曜日ですか。金曜日になっていますが。
	教育長	平成28年度ですから変わらないのですね。
	委員長	26日の金曜日だから、27日は土曜日で、29日から3日間の日数が確保できますね。
	教育長	カレンダーを見間違えていました。変わらないですね。29年度からになると1日変化が出てくるのですね。

会	委員長	それならば、今年実施したほうがいいのではないですか。
	学校教育指導室長	開校記念日の問題が残りますね。
議	委員長	開校記念日は、こうしてみると半数近くが授業日ですよ。
	教育長	これは市だけのデータなので、町村の調査が無いのですね。
進	委員長	なるほど町村は分らないのですね。 だいたい、教員もある程度覚悟しているというか、市も授業日の確保で苦労しているのですかね。
	教育長	開校記念日に授業を行うことは、教員は大丈夫です。勤務日です。勤務しなくてはならないですからね。 ですけど、子供の問題が残るから、突然決める訳にはいかない。来年度のことになると影響がでてくる。 保護者の関係ですね。ですから1年間据え置いて検討しましょうということ。情報を流していこうということ。
	清委員	ディズニーランドとかですね。
	教育長	保護者は喜ぶますね。
行	川浦委員	日にちはここに書いてありますが、年間の授業時間数は決まっているのですか。その中で、たとえば土曜授業を行いますね、その分年間の授業の中から、平日分としてもってくるのですか。
	教育長	授業日は増えます。
状	学校教育指導室長	土曜日授業は増えますね。休まないですね。今までの考え方ですと、土曜日授業は、授業参観など実施しますと、月曜か火曜日など振り替えて休みましたが、土曜授業は振替無です。 その分どこかで休むということはないですね。 教員の休みというのは、夏休みの中で考えますね。

会	川浦委員	総授業時間数は、年間変えないのであれば、平日だけであれば少なくなる訳ですよ、理屈ではですけど。
	学校教育指導室長	文科省で年間授業時数は決められているので、学校は年間何時間できるかというのは、それぞれの学校で違うのですね。学校によって一律ではないですね。学校行事等の関係もあります。
議	川浦委員	最低何時間というのが決まっていて、それにプラスするのは各学校の裁量になるのですか。
	学校教育指導室長	裁量になります。
進	教育長	その時に、学校行事を残った時数に充てるのか、学校行事を削り、授業時数を増やしていくのか、それは学校の裁量になるものです。
		年間何日授業のできる日があるかということのを割り出して、そこから曜日によって授業時数が変わってきますから、計算すると年間何日何時間の授業ができるか、可能な授業時数があるかということで、そこから今度は教科に使う時間を割り当てていくのです。
状	川浦委員	どういう授業をすれば、行った授業はプラスになるのですか。
	教育長	上里町が3日間夏休み短縮を実施しようとしたのは、3日間行くと1日平均6時間で考えると合計18時間増やすことができる。年間ですね。その18時間は、いわゆるゆとりのなものにも使えるし、補習授業にも使えるし、それは学校の裁量ですよ。ということですね。
況	川浦委員	増えた分をゆとりの時間に充てたりする訳ですか。
	教育長	そういうことです。結果的には本庄市も言っているように、きめ細かい指導を行うための時間の確保、補充発展、事務の軽減、負担の軽減、事務処理の時間を少し取ることができる。

会		とっておりました。そういうことに充てられるから、このようにしました。ということです。
		最終的に学校施設にエアコンが設置されたので、夏季休業日を減らすことができた。というのが理屈なのです。これは上里町の考え方と同じです。基本的な考え方はです。
議	川浦委員	教員の負担軽減になるのですか、何か強化されるような気がします。授業時数は増える訳ですよね。そうすると事務の時間が取れるのか、少なくなるようなイメージがありますよね。
	教育長	ですから、事務にも時間を使えますよね、授業の標準時間数は決まっている訳ですから、その範囲内で授業を行っていただければいい訳です。それ以外の時間が増えていく訳です。
進	川浦委員	児童と接する時間も増えてくる。
	教育長	そうです。増やすことができます。
行	学校教育指導室長	難しい面はあるのですが、昔は夏休み中に出張とか研修とかありました。3日間の夏休みを少なくしてしまうと、夏季休暇を5日間取りなさいとか、健康に関する休みを3日間取りなさいとか夏休みに集中しているので休暇を取りきれない、夏休みをなぜ取らないのだと言われましても職員が取りきれない状況なのですね。夏休み中になぜ全員取らせないのだと言われましてもとれないのですね。夏季休業日が短くなっているからなのですね。そういう面では困っています。
		最近は少なくなっていますが、意外と教育委員会や、県からの研修会など組み込んでおりますので、学校では8月の末には授業が始まっているのに関わらず、研修や出張が昔のままで8月の末まで集中している実態があります。
状		先程言いましたけれど、土曜日授業も振り替えて夏休み中に取りなさいといっても、取りきれない状況があるのですね。
	川浦委員	土曜日10日間授業をして、5日間の夏休みが取りきれないということですね。
況		

会	教育長	そういうことです。もし夏休みを消化をしていくのであれば学校を一斉休業にするとか、そうしていかないと大変難しくなるのかなと。
		そういう訳で1年間検討して、実施してはどうかということで本日の提案をさせていただきました。
議	委員長	一応これについては、校長会にも投げかけてあるのですね。
	教育長	投げかけてあります。校長会も年間行事が決まってしまうので、一年伸ばして検討してくださいと要望が出ている。来年度本庄市と合わせていかなくとも影響がないです。影響がでてくるようであれば、今度は給食との関係が出てきます。給食センターとの関わりが今のところ無いので、それでは来年1年掛けて検討する。それで早い時期に管理規則を変更していこうということで、いま考えております。
進	委員長	一応校長会でもこの方法で考えていこうということで、現段階では進んでいる。各委員さんにはご承知おきいただければよろしいかなと思います。それでよろしいでしょうか。
	教育委員	<結構です。>
行	教育長	しかるべき時期に、こんな方向性でいきたいという管理規則の変更を提案させていただきます。よろしく願いいたします。
	委員長	3議事の(2)その他でございますが、他にありませんか。
状	事務局	ありません。
	委員長	無いようでございますので、3議事については終了いたします。
況		それでは続きまして、次第4の教育長報告につきまして、教育長さんお願いいたします。
	教育長	それではですね、教育長報告ということなのですが、実は

会 議 進 行 状 況	1月9日に文科省の文部科学審議官前川喜平審議官が秩父市に参りまして講演会がございました。これからの教育についてということで、こんな風が変わりますよという話がありました。
	教育委員会制度が新たに変わったことを踏まえてという前提でありました。その中で、これからこんな動きがでてくるかなという話を報告させていただきます。
	一つは、学習指導要領が盛んに検討されておりました、この学習指導要領が改定すると、こんな動きがでますよという話がでております。平成26年の11月に中央教育審議会がありまして、教育課程部会が様々な検討をしております、平成28年度内に、答申が出される。そうすると、学習指導要領の改訂に動き出すということになります。
	その実施は小学校平成32年、中学校は平成33年に新たな学習指導要領によって授業展開がされるようになる。
	改定の大きな目玉として、こんなことを考える指導要領になるでしょうということで、「何を学ぶか」、「どのように学ぶか」だけでなく、その指導した結果「何ができるようになるのか」ということを考えた指導ですね。新しい時代に必要な資質能力を育てる。そういう学校教育に変わっていくということを言っております。
	「何を学ぶか」、「どのように学ぶか」、が最近叫ばれております。いわゆるアクティブラーニングということですね。それにプラスして「何ができるようになったのか」まで見届ける教育、こんな形に変わってきます。というように言ってます。
	なぜそうなのかというと、どのような社会・世界と係り、より良い人生を送れるか、送るかということが、その子供たちにとって大変重要になってくるし、社会にとっても必要なことであると、知っていることが出来る、どう使うのか、何をしているか、何が出来るか、どのような世界・社会との係り、良い人生を送れるかと、こういう3つの観点から、子供たちを育て上げていく必要がありますね。ということが今盛んに審議されている。という話が出て参りました。
	それからですね、もう一つあります。これから大きく変わるであろうという話が出て来てます。盛んに言われているのが、コミュニティスクールの話があるかと思うのですが、コミュニティスクールが、これから拍車がかけてくるでしょうと言ってます。埼玉県では平成27年度2市で3校、2つの教育委

会 議 進 行 状 況		委員会で3校がコミュニティスクール化している。平成28年度、
		来年度はですね、それが5市の教育委員会に増えて、10校になる
		予定であると、現在は市の段階であります10校になる。7校増
		える訳で、倍増になる。というような傾向があります。従って、そ
		のコミュニティスクールという考え方を、教育委員会も少しずつ意
		識化を図っていかなくてはいけないのかなど。というような状況が目
		の前に来ている。学校は学校評議員制度の中で行っている訳ですけ
		れど、評議員はあくまでも、校長の考え方に意見を申し述べるとい
		うことなのですけれど、コミュニティスクールは学校運営協議会と
		いう協議会を設置する。地域の人たちとですね。それで学校運営を
		どういうようにしていくか、学校をどんな学校にしていくかという
		ことを校長が考えて掲示して、地域の学校運営協議会の中で議論し
		て、承認をいただいてから動き出す。これには人事権は一切入って
		ない、学校をどういう学校にしていくか、どういう運営をしていく
		かいうことですね。そんなことが出てきました。と同時にですね、
		学校コミュニティスクール、学校運営協議会がひとつの車輪だとす
		ると、地域の力を学校にという動きがでてまして、現在学校応援団
		とか、様々な地域サイドで、いろいろな活動がでてい
		るので、その活動が、地域学校共同本部というのを学校に設立しなさい
		と、学校運営協議会と地域学校共同本部が両輪になって学校を運営
	して、子供たちをその上に乗せていこうという動きがあります。よ	
	うするに今まで地域の力が、それぞれ別々にひとつひとつの塊で、	
	単独で動いていた、学校の応援団は学校応援団という組織の中で協	
	力していた。	
	放課後子供教室は3校行っておりますが、それはそれで動いてい	
	る。登下校の見守りだとかは、それで動いている。ということなの	
	で、まちまちな別別に動いている。いわゆる連携がされていないの	
	で、それをひとつにまとめた地域学校共同本部を組織して、その中	
	に、今まであったものを全部ぶら下げて、連携体制を作って学校を	
	地域の中で育てていこうという動きがこれから出てくるそうです。	
	その辺のところも教育委員会として考えなくてはならない大き	
	なものなのかなと思います。学校の中だけ考えているのでは無く	
	て、地域と学校との連携、こういうものも考えながら、子供達をそ	
	の車の両輪に乗せて大きく育ててあげようという動きができてきま	
	すよという話ですね。そんな話がでておりました。	
	文科省もそれに向けて一所懸命予算取をしている状況がある	

会議		ので、これから新たな問題がでてくるのかなと思っています。	
		又、その都度情報を提供させていただいて、どうやって上里の教育を進めていったらいいか、これからの学校が地域の核になって、地域とともに地域を育て上げていく、地域コミュニティを作っていくのだという発想がこの中にありますよという話なのですね。	
		今は、地域コミュニティと学校というのは、うまく連携しているようなのだけれど完全な連携体制がとれていない。ということなので、その辺をきちっとやっていかなくてはいけないというのがあります。これから色々なところで叫ばれてきますので、情報を集めながらお話をさせていただければと思います。	
		もうひとつ大切なのは、子供の貧困対策です。大きな課題として挙げられております。貧困の連鎖をどう断ち切るか、子供の貧困対策を行っていかないと、貧困は連鎖して、いつまでもその貧困から抜け出せないというのがありますので、その辺もこれからの流れの中で、国も考えてくるでしょう。今一生懸命考え始めています。ただその辺のところが目に見えてくるのが、若干時間がかかるのかなと思います。	
		以上です。	
		清委員	子供の貧困率が16%とでていましたね、だいたい2割弱ですか。1クラスで考えれば、3～4人ですか。
		教育長	平成7年の時が、貧困家庭16人に1人であったのが、平成22年度に6人に1人が貧困家庭となっています。
			そんなデータが出て来ています。それだけすごいという話ですよね。
		清委員	給食が子供の食事の主を占める。という話を聞いたことがある。給食は無くなったら困りますからね。
		委員長	朝食を学校で出しているという必要が、そこまで出て来ているのですよね。
	教育長	朝食を食べないでいる子供というのは、学習への集中力が無いだけではなくて、非常に精神的に不安定、ストレスが溜まってイライラしている。朝食をおにぎり一つ食べられるだけで、	

会		そのイライラが解消する。というデータも出ている。
		いかに、早寝、早起き、朝ご飯という言葉が重要であるかということですね。
		というわけで、まだまだ考えていかななくてはならないことが、
		沢山あるのだと思う訳です。経済的なものについては、教育
		委員会サイドとしては、なかなか考えにくいという部分がある
		ので、指導の中でどう補っていくか、という話になってくると
		思うのですね。
議	委員長	学校の中で深刻な問題を抱えている学校が、あるかと思うの
		ですが、時代の変遷とともに、学校教育の在り方も、この前の
		研修会での講師の先生の話ではないですが、今まで地域が、近
		所のおじさん、おばさんがやっていたことを、学校がやってい
		かななくてはならない状況が随所にみられるという関係になって
進		いくので、色々と考えさせられるのですが、そんなところにも
		対応していかななくてはならないという時代がくるのではないか
		と思います。
行	委員長	それでは、教育長報告については、以上でよろしいですか。
	教育委員	<結構です。>
	委員長	これで教育長報告を終了します。
状		教育長報告も終わりましたので、続いて5その他の事項です
		が、何かございますでしょうか。
況	事務局	<特にございません>
	委員長	それでは、次第5その他の事項について終了いたします。
	委員長	それでは、本日の教育委員会を終了いたします。ありがとう
		ございました。
	委員長	次回の教育委員会は、2月22日（月）午後1時30分とい
	たします。	

会 議 進 行 状 況		午後2時25分閉会
		平成28年1月25日
		会議録署名委員（委員長）
		会議録署名委員（教育長）
		会議録調整者（学校教育課長）谷 木 章 二